

**「第 9 期京都市民長寿すこやかプラン」策定のための
すこやかアンケート及び介護サービス事業者アンケート調査結果について（速報）**

1 概要

「第 9 期京都市民長寿すこやかプラン」（以下、「プラン」）の策定に向けて、3 年ごとに実施している「すこやかアンケート」及び「介護サービス事業者に関するアンケート」の調査結果について、速報として取りまとめましたので御報告いたします。

なお、本アンケートの調査結果を取りまとめた報告書につきましては、次回の高齢者施策推進協議会においてお示しさせていただく予定です。

2 調査概要・回収結果

(1) 調査期間

- ・高齢者調査、若年者調査、在宅介護実態調査
令和 4 年 11 月 25 日（金）～12 月 26 日（月）
- ・介護サービス事業者アンケート調査
令和 4 年 11 月 25 日（金）～12 月 28 日（水）

(2) 調査種別及び調査対象

	種 別	調査対象
すこやかアンケート	高齢者調査	○市内在住の 65 歳以上の方、4,200 人 ○令和 4 年 10 月 1 日現在の住民基本台帳から無作為抽出
	若年者調査	○市内在住の 40 歳以上 65 歳未満の方、1,200 人 ○令和 4 年 10 月 1 日現在の住民基本台帳から無作為抽出
	在宅介護実態調査 ・ 本人向け ・ 介護者向け	○市内在住の介護保険制度の要介護（要支援）認定を受けている 65 歳以上の方、2,000 人 ○令和 4 年 10 月 1 日現在の住民基本台帳データのうち、令和 4 年 7 月に要介護（要支援）認定を受けている方から無作為抽出
	介護サービス事業者アンケート調査	○京都市内で施設・居住系サービスを提供する介護サービス事業者、約 370 事業者

(3) 回収結果

種 別		令和 4 年度			平成 3 1 年度		
		配布枚数	有効 回収数	有効 回収率	配布枚数	有効 回収数	有効 回収率
A 高齢者調査		4,200 通	2,336 通	55.6%	14,700 通	8,250 通	56.1%
B 若年者調査		1,200 通	481 通	40.1%	1,200 通	492 通	41.0%
C 在宅介護 実態調査	本人	2,000 通	972 通	48.6%	2,000 通	1,043 通	52.2%
	介護者	2,000 通	628 通	31.4%	2,000 通	795 通	39.8%
D 介護サービス事業者 アンケート調査		370 通	170 通	45.9%	3,089 通	1,862 通	60.3%

3 調査結果概要について 別紙を参照。

「第 9 期京都市民長寿すこやかプラン」策定のための
すこやかアンケート及び介護サービス事業者アンケート調査結果概要について

1 調査結果概要について

(1) 高齢者調査

- 介護・介助を必要としない高齢者の割合は 74.2%となっています。また、日常生活の困りごとをお伺いしたところ、電球の交換や買い物など、専門職でなくても対応が可能な日常的な支援を必要としている方が多いことがわかります。
- 会やグループ等に参加している方の割合は 63.1%となっています。このうち、スポーツ関係のグループやクラブに週 1 回以上参加している方の割合は 15.0%で少数となっています。
- 高齢サポートを認知している方の割合は 56.0%となっています。
- 主観的健康観（現在の健康状態）について、75 歳以上 84 歳以下の方で「よい」と回答している方の割合は 71.0%となっています。また、手段的自立度（IADL）について、75 歳以上 84 歳以下の要介護認定を受けていない方のうち、「低下者」に該当する方の割合は 12.2%となっています。
- 成年後見制度の認知度は 60.4%、任意後見制度の認知度は 47.5%となっており、半数前後の方は制度があることは知っていると考えられます。

内容	令和 4 年度			平成 3 1 年度		
	順位	割合	回答	順位	割合	回答
回答者の家族構成	1 位	39.4%	夫婦 2 人暮らし（配偶者 65 歳以上）	1 位	40.1%	夫婦 2 人暮らし（配偶者 65 歳以上）
	2 位	23.8%	一人暮らし	2 位	22.4%	一人暮らし
	3 位	14.3%	息子・娘との 2 世帯	3 位	13.5%	息子・娘との 2 世帯
介護・介助の必要の有無	1 位	74.2%	介護・介助は必要ない	1 位	75.9%	介護・介助は必要ない
	2 位	12.9%	現在、何らかの介護を受けている	2 位	12.0%	現在、何らかの介護を受けている
	3 位	7.6%	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	3 位	9.2%	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない

日常生活の中で不自由 と感じていること (複数回答可)	1 位	20.9%	電球の交換、部屋の模様替え、庭木の手入れ等を行うこと	1 位	21.1%	電球の交換、部屋の模様替え、庭木の手入れ等を行うこと
	2 位	19.5%	住宅の軽微な修繕に関すること	2 位	16.5%	住宅の軽微な修繕に関すること
	3 位	14.8%	買い物したり、荷物を持ち運ぶこと	3 位	13.1%	買い物したり、荷物を持ち運ぶこと
会やグループ等に参加 している方の割合	—	63.1%	—	—	67.2%	—
スポーツ関係のグループや クラブに週 1 回以上参加 している方の割合	—	15.0%	—	—	16.1%	—
高齢サポートを認知 している方の割合	—	56.0%	—	—	55.0%	—
75 歳以上 84 歳以下の方 の主観的健康観(現在の健康 状態)について「よい」と回 答している方の割合	—	71.0%	—	—	73.3%	—
75 歳以上 84 歳以下の要 介護認定を受けていない方 のうち、手段的自立度 (I A DL) の評価が低下者とされ た方の割合	—	12.2%	—	—	9.4%	—
成年後見制度の認知の 有無	1 位	60.4%	はい	—	—	—
	2 位	34.6%	いいえ	—	—	—
任意後見制度の認知の 有無	1 位	47.5%	はい	—	—	—
	2 位	47.1%	いいえ	—	—	—

(2) 若年者調査

○病気の予防や健康づくりに取り組む方の割合がほとんどの項目で半数を超えています。

○老後の生活に不安を感じる方の理由について、63.6%の方が「介護が必要な状態になることの不安」と回答していますが、それを超える77.9%の方が「生活費など経済的な不安」があると回答しています。

○成年後見制度の認知度は65.0%、任意後見制度の認知度は42.3%となっており、半数前後の方は制度があることは知っていると考えられます。

内容	令和4年度			平成31年度		
	順位	割合	回答	順位	割合	回答
回答者の家族構成	1位	50.4%	二世世代同居（子と同居）	1位	48.2%	二世世代同居（子と同居）
	2位	17.5%	一世代（夫婦のみ）	2位	18.8%	一世代（夫婦のみ）
	3位	11.8%	単身世帯（ひとり暮らし）	3位	14.0%	二世世代同居（親と同居）
病気の予防や健康づくりのための取組状況 （現在行っていると回答した方、複数回答可）	1位	63.6%	栄養バランスを考えた食事をする	1位	58.9%	早寝・早起きなどの規則正しい生活を送る
	2位	58.3%	早寝・早起きなどの規則正しい生活を送る	2位	54.0%	読み書きや計算などふだんから頭をよく使うようにする
	3位	52.4%	ふだんの生活の中で、意識的に歩いたり運動などをする	3位	51.7%	ふだんの生活の中で、意識的に歩いたり運動などをする
老後の生活に不安を感じる方の理由 （複数回答可）	1位	77.9%	生活費など経済的な不安	1位	75.4%	介護が必要な状態になることの不安
	2位	66.3%	介護が必要な状態になることの不安	2位	73.8%	生活費など経済的な不安
	3位	37.4%	自分の健康に関する不安	3位	36.3%	自分の健康に関する不安
成年後見制度の認知の有無	1位	65.0%	はい	1位	60.5%	はい
	2位	30.0%	いいえ	2位	38.9%	いいえ
任意後見制度の認知の有無	1位	42.3%	はい	—	—	—
	2位	52.0%	いいえ	—	—	—

(3) 在宅介護実態調査

ア 本人向け

- 施設等への入所・入居の検討状況は、70.7%の方が「入所・入居を検討していない」となっています。
- 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、「特になし」が32.1%で、次いで「掃除・洗濯」、「外出同行（通院、買い物など）」となっています。
- 18歳未満の家族や親族からの介護（ヤングケアラー）を受けている方は、4.5%となっています。

内容	令和4年度			平成31年度		
	順位	割合	回答	順位	割合	回答
施設等への入所・入居の 検討状況	1位	70.7%	入所・入居を検討していない	1位	69.8%	入所・入居を検討していない
	2位	12.7%	入所・入居を検討している	2位	14.7%	入所・入居を検討している
	3位	6.2%	すでに入所・入居申し込みをしている	3位	6.2%	すでに入所・入居申し込みをしている
今後の在宅生活の継続 に必要と感じる支援・サ ービス	1位	32.1%	特になし	1位	31.9%	特になし
	2位	20.4%	掃除・洗濯	2位	21.0%	移送サービス（介護・福祉タクシー等）
	3位	18.8%	外出同行（通院、買い物など）	3位	20.2%	掃除・洗濯
家族や親族からの介護 の頻度	1位	41.6%	ない	1位	37.4%	ない
	2位	30.5%	ほぼ毎日ある	2位	31.8%	ほぼ毎日ある
	3位	6.7%	週に1～2日ある	3位	9.2%	週に1～2日ある
18歳未満の家族や親 族からの介護の有無	1位	94.7%	受けていない	—	—	—
	2位	4.5%	受けている	—	—	—

イ 介護者向け

○主な介護者は、「子」が最も多く、次いで「配偶者」となっています。

○介護のための離職について、「仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合は35.6%となっており、前回調査から10.3pt 低くなっています。

○今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護としては、「認知症状への対応」が最も多く、次いで「外出の付き添い・送迎等」、「食事の準備（調理等）」となっています。

○主な介護者に18歳未満の子供（ダブルケア）がいる割合は、3.4%となっています。

内容	令和4年度			平成31年度		
	順位	割合	回答	順位	割合	回答
主な介護者	1位	26.8%	子	1位	33.2%	子
	2位	22.0%	配偶者	2位	27.9%	配偶者
	3位	3.8%	子の配偶者	3位	3.7%	子の配偶者
介護のための離職の有無	1位	35.6%	仕事を辞めた家族・親族はいない	1位	45.9%	仕事を辞めた家族・親族はいない
	2位	5.6%	仕事を辞めた（転職除く）	2位	6.7%	仕事を辞めた（転職除く）
	3位	1.3%	転職した	3位	1.7%	転職した
今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護	1位	18.3%	認知症状への対応	1位	21.5%	外出の付き添い・送迎等
	2位	17.9%	外出の付き添い・送迎等	2位	21.3%	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）
	3位	15.2%	食事の準備（調理等）	3位	19.3%	認知症状への対応
主な介護者の18歳未満の子供の有無	1位	50.0%	いいえ	—	—	—
	2位	3.4%	はい	—	—	—

(4) 介護サービス事業者調査

- 入所申込から1年未満で入所・入居した利用者の割合は、特別養護老人ホームで76.4%となっており、前回調査から13.1pt 高くなっています。介護老人保健施設・有料老人ホーム、ケアハウス等については9割を超えています。
- 外国人介護職員の雇用状況は「雇用している」が28.2%となっています。一方、31.2%は「雇用しておらず、今後の予定はない」となっており、その理由の半数が「意思疎通の支障」と「指導できる職員の確保」となっています。
- 導入しているICTや介護ロボットのタイプは、「見守り（カメラ・センサー等）」が58.0%で最も多く、次いで「利用者請求（会計等）」、「介護・業務記録（バイタルチェック等）」となっています。
- 特別養護老人ホームのショートステイの利用状況については、「3年前と現在」、「現在と3年後」を比較した場合、いずれも「変わらない」が最も多くなっておりますが、3年後の状況については40.5%が「利用が減る」となっています。

内容	令和4年度			平成31年度		
	順位	割合	種別・回答	順位	割合	種別・回答
入所申込から1年未満で入所・入居した利用者の割合	—	76.4%	特別養護老人ホーム	—	63.3%	特別養護老人ホーム
	—	92.5%	介護老人保健施設	—	100.0%	介護老人保健施設
	—	91.4%	有料老人ホーム、ケアハウス等	—	95.0%	有料老人ホーム、ケアハウス等
外国人介護職員の雇用状況	1位	31.2%	雇用しておらず、今後も雇用の予定はない	—	—	—
	2位	29.4%	雇用していないが、今後は検討していく	—	—	—
	3位	28.2%	雇用している	—	—	—
外国人職員を雇用しておらず、今後も雇用の予定はない理由	1位	58.0%	利用者、従業員との意思疎通に支障があると思うから	—	—	—
	2位	50.0%	外国人介護職員を指導できる職員の確保が難しいから	—	—	—
	3位	36.0%	日本語文章力・読解力不足で介護記録作成に支障があると思うから	—	—	—

導入している I C T や 介護ロボットのタイプ		1 位	52.9%	見守り（カメラ・センサー等）	—	—	—
		2 位	43.5%	利用者請求（会計等）	—	—	—
		3 位	42.4%	介護・業務記録（バイタルチェック等）	—	—	—
特別養護老 人ホームの ショートス テイの利用 状況	3 年前と 現 在 の 比較	1 位	36.5%	変わらない	—	—	—
		2 位	25.0%	利用が減っている	—	—	—
		3 位	19.2%	専用床を持っていない	—	—	—
	現在と 3 年 後 の 比較	1 位	54.1%	変わらない	—	—	—
		2 位	40.5%	利用が減る	—	—	—
		3 位	5.4%	利用が増える	—	—	—